

様式第28号（第5条関係）



令和 3 年 4 月 / 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市真鍋島4093
協 議 会 名	真鍋島まちづくり連絡協議会
協 議 会 長 名	会長 森本 康夫

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 250,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

活動No	活動名	申請額
1	真鍋島定住促進プロジェクト	250,000

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）活動計画書（様式第29号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）収支予算書（様式第30号）
- (3) 地域づくり計画書などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第29号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続も危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とつながりも深める。

【効果】子育て世帯の定住を促進することによって両問題の解消を図るとともに、マンパワーの増強によって地域づくりの新たな一手につながることが期待できる。

2 実施期間

令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 15 人（ア+イ）

（内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）

○団 体： （団体名）, （団体名）

（団体名）, （団体名）

5 実施内容

島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供するとともに、ツアー実施によって住宅や仕事事情、島民との交流や子育てに関する懇談などにより詳細な島暮らしの魅力を体験的な活動を通して認知してもらい、定住につなげる。また他の島の子育て世帯が交流を持つ機会も船の便の関係、それぞれの仕事事情等でなかなか難しく、集まれる機会をもつ。

6 予算額

250,000 円（うち交付金分 250,000 円）

様式第30号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	250,000	
その他収入	0	
計	250,000	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	110,000	〃
需用費	30,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
宿泊費	110,000	〃
	0	〃
計	250,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
移住相談、島交流船賃	110,000	チャーター船 11,000円×10
計	110,000	

需用費

[illegible]

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
飲料費	30,000	移住相談会、島交流会400円×15名×5回
計	30,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
計	0	

宿泊費

内 容	金 額	積 算
移住相談、島交流	110,000	5,500円×20
計	110,000	／

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。